

2021年度 TMSナビ ストレスチェックの結果に関する調査

TMSナビ導入団体及び企業のストレスチェック において、高ストレス者に該当した方は13.5%

(対象者243,729名中、有効回答218,634名)

1.導入企業全体の高ストレス者割合

- 女性の方が高ストレス者割合が高い

集団名	対象者数 (人)	有効回答数 (人)	高ストレス者数 (人)	高ストレス者割合 (%)
全体	243,729	218,634	29,609	13.5
男性	187,307	166,884	22,262	13.3
女性	56,422	51,750	7,347	14.2

2.年代別高ストレス者割合

- 30代の高ストレス者割合が最も高く、20代と40代が続く

年代	対象者数 (人)	有効回答数 (人)	高ストレス者数 (人)	高ストレス者割合 (%)
20歳未満	2,383	2,054	203	9.9
20代	44,980	40,674	6,064	14.9
30代	53,981	48,560	8,119	16.7
40代	66,064	59,630	8,649	14.5
50代	57,971	51,855	5,765	11.1
60歳以上	18,350	15,861	809	5.1

3.残業時間別高ストレス者割合

- 残業時間の増加に伴って、高ストレス者割合が増える

月平均残業時間	有効回答数 (人)	高ストレス者数 (人)	高ストレス者割合 (%)
0～10時間	64,640	7,159	11.1
11～20時間	34,344	4,630	13.5
21～30時間	30,021	4,561	15.2
31～40時間	22,318	3,491	15.6
41～50時間	16,667	2,766	16.6
51時間以上	12,214	2,306	18.9

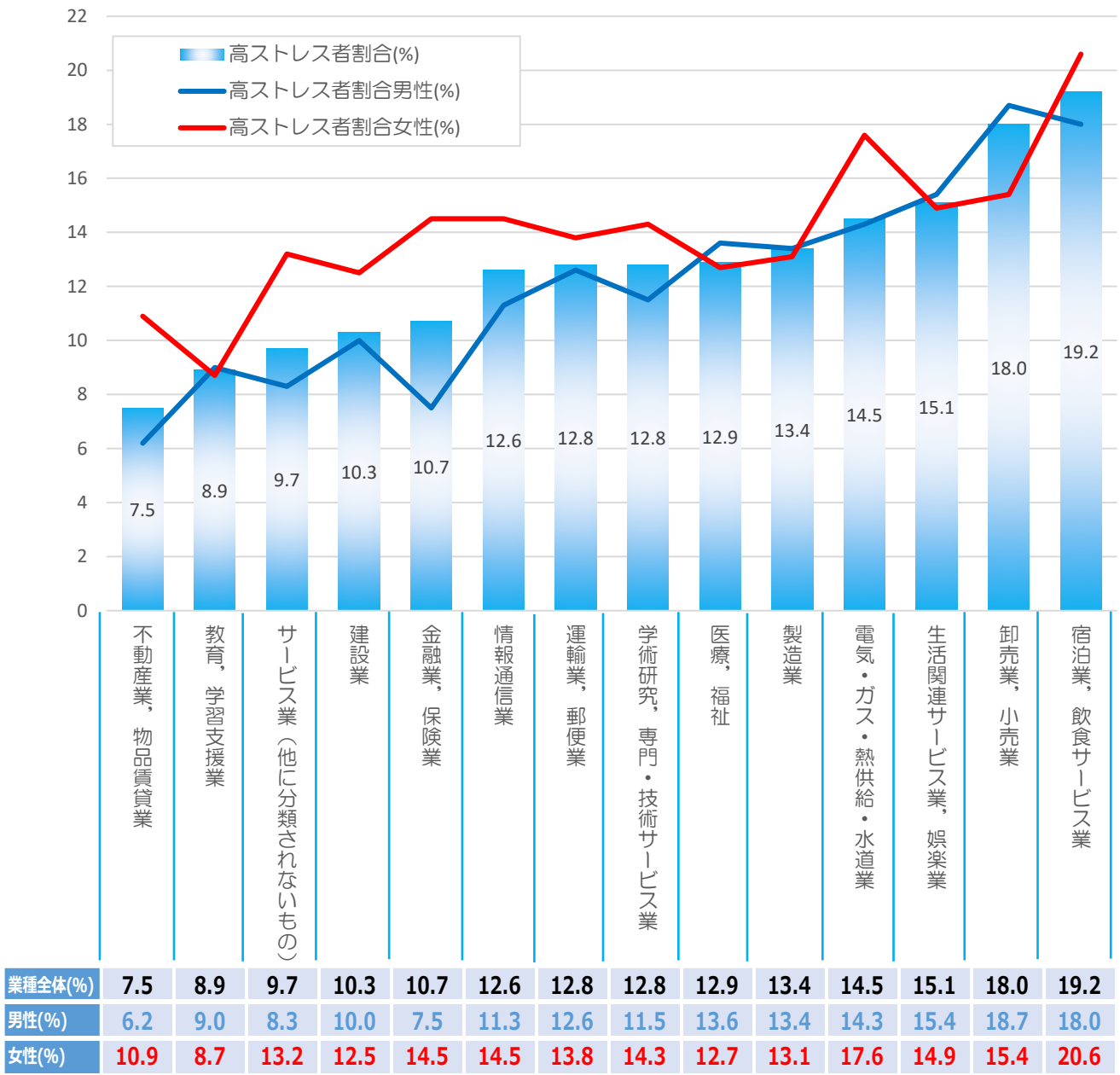




4.業種別高ストレス者割合

※業種分類は日本標準産業分類を使用

- 「宿泊業、飲食サービス業」は高ストレス者割合が最も高く、最も低い「不動産業・物品賃貸業」とは、2倍以上の差がある。
- 多くの業種で、女性の方が男性よりも高ストレス者割合が高く、特に「金融業・保険業」「サービス業（他に分類されないもの）」「不動産業・物品賃貸業」で、その男女差には大きな開きがある。一方で「卸売業、小売業」「医療・福祉」など、男性の方が高ストレス者割合が高い業種もある。



(注)本調査はデータ利用の許可を頂いた団体及び企業のデータのみ分析対象としています